



World Rugbyレベル2コーチ資格認定評価表

WORLD RUGBY
トレーニング&エデュケーション

コーチ	
評価を行った日	
会場	
エデュケーター/ アセッサー	

核となる能力	基準	NYC* C* E*	コメント/ 求められる活動
A 計画	1. シーズンの個人的な目標を明らかにする。		
	2. プレーヤーの能力、発育状況、経験に基づいてチームのシーズンの目標を明らかにする。		
	3. コーチングセッションのための用具と施設を準備する。		
	4. 最低6週間分の試合とコーチングの機会のプランニング、実行、および、レビューのプロセスについて包括的に理解し、遂行していることの証拠を提出する。		
	5. 自己反省とフィードバックに基づいた行動計画を立てる。		

* NYC=まだ不十分

* C =能力あり

* E =卓越している



World Rugbyレベル2コーチ資格認定評価表

WORLD RUGBY
トレーニング&エデュケーション

核となる能力	基準	NYC* C* E*	コメント/ 求められる活動
B コーチングプロセス (スタイルを含む)	6. セッションのねらいを発表する。		
	7. 適切な説明、デモンストレーション、質問を用いて練習活動を発表する。		
	8. プレーヤーの活動量を最大化する。		
	9. プレーヤーのパフォーマンスを正確に観察する。		
	10. 活動を分析し、プレーヤーの能力に合わせて練習を進行する。		
	11. 個々のプレーヤー、グループ、チーム全体に対し様々なスタイルを用いてコミュニケーションをとる。		
	12. セッションのねらいを振り返り、学んだことをまとめる。		
	13. プレーヤー、他のコーチと練習セッションを振り返る。		



World Rugbyレベル2コーチ資格認定評価表

WORLD RUGBY
トレーニング&エデュケーション

核となる能力	基準	NYC* C* E*	コメント/ 求められる活動
C. ラグビーの知識とスキル	14. 適切なレベルの技術的内容を指導する。		
	15. プレーの原則を使い、チームのパフォーマンスを分析する。		
	16. キーファクターを使い、個々のパフォーマンスを分析する。		
	17. ユニットスキルやチームプレーのコーチングには機能的役割分析を応用する。		
	18. 試合につながる練習を計画する。		
	19. 攻撃と防御の練習のバランスをとる。		
	20. セレクションを告げるときは、キーファクターと機能的役割を使う。		
	21. worldrugby.org.laws にてオンラインのルール試験を受ける。		

核となる能力	基準	NYC* C* E*	コメント/ 求められる活動
D プレイヤーウェルフェア	22. 全ての練習、試合会場での緊急時の計画を認知している。		
	23. 施設や用具が安全であることを確認する。		
	24. プレーヤーの健康状態と服装、用具が安全であることを確認する。		
	25. 練習の始めにはセッションに関連するウォームアップ、終わりにはクールダウンとリカバリーを確実に行う。		
	26. 個人スキル、ユニットスキルを安全にコーチングする。		
	27. プレーヤーの怪我や病気、復帰に対するコーチの役割を説明する。		
	28. worldrugby.org/rugbyready にてラグビーレディー試験を受ける。		
E 哲学と倫理行動	29. それぞれの環境で適切なコーチング哲学を説明する。		
	30. ラグビーの中心的意義を明らかにし、コーチング行動に応用する。		
	31. 他の人の行動がラグビーの中心的意義に反するときは、それを明らかにし、抗議する。		
	32. チームへのコーチングとそれに関わる人に積極的に貢献する。		



World Rugbyレベル2コーチ資格認定評価表

WORLD RUGBY
トレーニング&エデュケーション

レベル2コーチ講習会後の進歩（エデュケーターによって記入）

講習会に関するコーチ（受講者）の自己反省

状況	印	コメント
エクセレント（E） 能力基準を超えたパフォーマンスを見せた。 認定に値する。		
コンペtent（C） 評価基準で規定されている最低限の基準は満たしている。 認定に値する。		
N/ottイェttコンペtent（NYC） 最低限の基準を下回るパフォーマンスである。コースの担当者は受講生に対して認定を得るためのアクションプランを作成する必要がある。例えば筆記タイプの宿題を与えたり、ビデオでの研修を行ったり、実技の観察を行ったりするなど。		

エデュケーターの署名	コーチの署名	日付